

たんたん楽しくなってきた。ー!!

火田をやりに始めて今年で4年目、やると楽しいと思える様になった。土と少し仲良くなった。植物も、少いけど理解してきた。ホント、楽しい。

今年は、もみがらと、ワラも釣りに、自然の力で、土づくりをはじめたら、劇的に変化して、

土がフカフカになってきて、土の中に住む虫も変化してきた。更に、田んぼも楽しくて、やはり

農民レゲエ、農民レポリューション、百姓一揆。

まずは、自立。なるべくこのアホな社会に、お金をおとさな。様に、なるべく買わない。様になつた。このアホなシステムから高値月脱した。

そして、このパワースポット、ヒーリングスポットである火田と田んぼと暮らした。飛行機や車に乗って

遠くに旅行か行くとも、一番のパワースポットは土、地面であるし確信した。

どうだろう、農業という、どういふイメージをお持ちだろうか?

土で汚れて、いつもドロドロの気もぶかしくて、頑固おやじ、いろいろうるさそうでめんじとせそう。

もしくは、博士みたくに陰気な研究者か、

貧乏なイメージか。

でも、実は、みんなおしゃべり、おもしろくて、独自の  
で、人なつこくて、でも、ホリジーはあつて、正直で、

楽しいことが大好きで、正義感がある、思いやり  
がある。

実際、僕の友人の女百生さんたちは、みんな  
すくすく中のすくすくなんだ。

お金はなけれい、知恵がある、

生きる力がある。

土と共に生きているカツコよさは、何にも勝る。

自分で食べる物を作っている人は、自立している、  
だから、苦勞しながらも、楽しくかにくわっている。

同じものでも、どうとらえるか。

うわー、土がついて汚れたら、早く拭かなくちゃー、

いやー、この野菜、ドロが付いているー、たべらんないー、

ここの臭いもの持ちたくないー、歩きたくないー、

汗かくのいやだー、

これが、清潔第一の現代人。

現実味がまたくない、リアリティの中になんか、

實際、土の中に居るシカイモヤ、何ヶ月もかけて  
青いた虫のついたしらすや、すずなりになる程度や、  
モミガラとりうごあじろくほど変化する土なども、  
目の当たりにしないので、食べるとも、から、エキルギ-  
を頂けや、感謝できないので栄養になるや、  
サツリなれど、食入でも、本義するに、食は心だ。  
自分で種から苗にい、定植い、成長に一番一  
番い採れたトマトは、スーパーの安売りのそれ  
とは、似て非なりと思う。

一日中ワ-ラ-のハヤビロコンに向かい、コンビニの  
おにぎりに、カップヌードル。夜はビッグマック。  
酒呑いでは、上司の下らな、ジョークに愛想笑い。  
何のために生きているのか、生きている実感は、  
何かと笑生いた時に生まれる。自分の子どもと  
一緒に居る時、友だちと太鼓をたたいている時、  
青いた野菜で食事する時、種から芽が出た時、  
実感、売定する瞬間はいくらでもある。でも、  
最も近い道、農にはいつも魅せられる。  
今年になつ、や、と言えり。百姓万歳!!